

『伊佐市の未来を紡ぐみんなの庁舎』

新しい庁舎に求められるのは、まちとまちをつなぎ、人と人をつなぐ開かれた庁舎だと考えます。既存の施設を活かしながら誰もが立ち寄りやすい新しい庁舎を目指します。



1) 誰もが立ち寄りやすい市民に開かれた庁舎

① 市民に開かれた、親しまれる庁舎や議会としての空間

誰もが気軽に立ち寄ることができる市民に開かれた場所となるように新庁舎と大口ふれあいセンターの1階には市民サービスのための様々な場所を設けます。

- ・新庁舎と大口ふれあいセンターを一體的に整備し、市民の生活をサポートする**情報コーナー**、**図書館機能**、**市民活動ギャラリー**、伊佐市の歴史や文化を展示するスペースなどを計画します。
- ・市民の憩いの場となるような**カフェ**、**バス待合**などを計画し**多世代**による交流の促進も促します。
- ・新庁舎は**セキュリティゾーン**を明確化した上で**休日の市民解放エリア**を設定し、時間外の有効活用を促します。
- ・4階の議会フロアを市民が積極的に活用できるよう計画します。**屋上庭園**を設け市民に開放します。

② ユニバーサルデザインに配慮した、すべての人にやさしい庁舎

- ・駐車スペースやバス停から庁舎内部へスムーズにアクセスできるよう**屋根付きのアプローチ**を計画します。
- ・福祉対応の**エレベーター**、**オストメイト対応の多目的トイレ**、**分かりやすいサイン計画**、**点字ブロック**や**音声案内**、**点字サイン**は**ブレイルノイエ**等を採用、**ローカウンター窓口**、**車椅子やベビーカーに優しい通路幅**の確保を行います。

③ 徒歩、自転車、公共交通及び自動車などのアクセス利便性の高い庁舎

- ・新庁舎へのアクセスとして、**多様な移動手段**(徒歩、車、自転車、コミュニティバス、タクシーなど)に対応するため、**歩車分離を明確に計画**し利用者の**安全に配慮**します。
- ・新庁舎に近接して来庁者用の**平置き駐車場**を計画し利便性を高めます。
- ・現在のコミュニティバス路線に沿った場所に**乗降場**を計画します。乗降場には**バス、タクシーの待合スペース**も一体的に整備し、円滑に運営できるよう配慮します。



配置図兼 1階平面図

2) 利用者へのサービス向上と効率的な行政運営を実現する庁舎

① プライバシーに配慮された、分かりやすい部署配置や案内、窓口のありかた

- ・新庁舎とふれあいセンターとの間に来庁者の動線を、西側に職員・議員の動線を計画し動線を**明確に区分**します。
- ・1階を市民サービスエリア、2階を相談エリア、3階は執務エリア、4階は議会エリアと関連する課をフロアごとに**まとめ明確に区分**することで利用者の利便性とセキュリティの双方に配慮します。
- ・新庁舎1階に**市民の利用頻度の高い部門を集約し市民利用の頻度の高い課を1階にまとめて配置**することで、サービスの向上をはかります。
- ・わかりやすい位置に総合案内を計画することで細やかなサービス対応が可能です。
- ・プライバシーを確保できる位置に**相談室**を設け、様々な相談に対応できるよう工夫します。



新庁舎1階市民待合イメージ



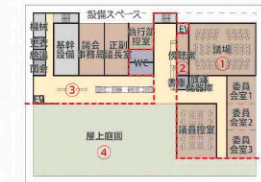
② 行政側だけでなく、だれもが分かりやすい情報を受発信できる庁舎

- ・新庁舎1階に**市民情報コーナー**を計画し、だれでも分かりやすい情報を発信できる庁舎とします。
- ・大口ふれあいセンター内に**市民活動ギャラリー**を設け、まちづくりに取り組む組織や機関・市民団体からの情報発信や交流を促します。

③ 効率的かつ効果的に柔軟性の高い執務空間

- ・ロングスパンで計画しすることで、開放的で視認性の高い**オープンフロア**とし、様々なスタイルのオフィスレイアウトに対応できる**フレキシビリティの高い執務空間**とします。
- ・フロア中央に**階段と吹抜け**を設け、職員の円滑な移動を促すとともに**自然光**や**自然通風**を取り入れ快適で動きやすい執務空間を計画します。
- ・執務空間の外周部に**バッファゾーン**を設け、執務をサポートする**ミーティング**や**リラックススペース**を計画します。

- ①「議場」バリアフリーに配慮したフラット形式の議場
- ②「傍聴席」高齢者や障害のある方も安全にアクセスできるような高低差がある場合はスロープなど段差を解消する設備を採用
- ③「議会ロビー」屋上庭園を眺める明るく開放的なロビー
- ④「屋上庭園」屋上庭園を設け市民に開放することで市民に親しまれる議場
- ⑤「備蓄倉庫」災害時に必要となる食料や毛布など必要ものの備蓄倉庫



4階平面図

- ①「ミーティングリフレッシュスペース」職員同士のミーティングやランチタイムに活用
- ②「執行部エリア」災害時などに連携しやすいように関連する諸室をまとめて配置
- ③「大会議室兼多目的ホール」「会議室」既存の多目的ホールを大会議室として使用できるように改修
市民にむかひこども市民活動の活性化に寄与



3階平面図

- ①「執務室」レイアウトの自由度が高く採光通風に配慮
- ②「コミュニケーションスペース」来庁者や職員同士が気軽に打ち合わせなどが可能
- ③「設備スペース」バリアフリーに設備スペースを計画しメンテナンスしやすさに配慮



2階平面図